作成日:　2011年6月15日

製　品　安　全　データ　シート

1．製品及び会社情報

製品名:ワイドウェイ粒剤

会社名：　保土谷アグロテック(株)
住所　〒103－0027東京都中央区日本橋三丁目14番5号 祥ビル

担当部門：　研究開発部
電話番号：　03－3548－9676　FAX:03－3548－9678
Ｅ－ｍａｉｌ：

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

健康に対する有害性	**急性毒性（経口）**	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分外
	発ガン性（結晶質シリカ）	区分1
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分1
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1
環境に対する有害性	**水生環境有害性**	区分1
	水生環境有害性（慢性）	区分1(製剤として区分2)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

危険　　**警告**

注意喚起語　**危険**　**警告**

危険有害性情報
発ガンのおそれ
臓器（呼吸器系）の障害
長期または反復暴露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害
眼刺激
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
取り扱い後良く手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

応急措置
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
特別な措置が必要である。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる
場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当を受けること。
漏出物を回収すること。

保管　施錠して保管すること。
廃棄　内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3．組成・成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物
農薬の種類名　イソウロン・DCBN・DCMU粒剤
有効成分の化学名と分子式　イソウロン:3－(5－ターシャリーブチル－3－イソオキサゾリル)－1,1－ジメチル尿素; $C_{10}H_{17}N_3O_2$
DCBN:2，6－ジクロロチオベンザミド; $C_7H_5Cl_2NS$
DCMU:3－(3,4-ジクロロフェニル)－1,1－ジメチル尿素; $C_9H_{10}Cl_2N_2O$
化審法整理番号　イソウロン:(5)-5296
DCBN:　(2)-2991,(3)－2991;第2種監視化学物質
DCMU:　(3)-2194;第2種監視化学物質
シリカ:　(1)-548

成分及び含有量

成分	含有量	PRTR法	安衛法	毒劇法	CAS番号
イソウロン	1.0%	非該当	公表	非該当	55861-78－4
DCBN	3.0%	非該当	4-(7)-459	非該当	1918－13－4
DCMU	6.0%	指定化学物質	名称通知	非該当	330-54-1
界面活性剤	3.0%				
鉱物質微粉(クレー)	57.0%				
(クレー:　内　結晶質シリカ	55%)		名称通知	非該当	7631－86－9
鉱物質微粉	30.0%				

PRTR法　DCMU:「第1種指定化学物質　政令番号169」

4．応急措置

吸入した場合　被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

目に入った場合　この製品が眼に入った場合、水で数分間注意深く洗い入った製品を洗い流すこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合　水でよく口の中を洗浄する。気分が悪い時は直ちに医師の診断／手当てを受ける。

皮膚に付着した場合　汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を多量の水と石鹸で良く洗う。
異常がある場合は医師の診療を受ける。

応急措置をする者の保護　救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグル、保護衣マスクなどの保護具を着用する。汚染された衣類や保護具を取り除く。

5．火災時の措置

消火剤　初期火災には水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。

火災時の特有の危険有害性　当該製品は分子中に[N、S、ハロゲン]を含有しているため火災時に、刺激性もしくは有毒なガスを放出するので消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

特有の消火方法　消火作業は風上から行い、火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火のための放水等により環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護　消火の際は必ず保護具を着用し、燃焼または高温により有毒なガス(一酸化炭素、窒素や硫黄の酸化物、ハロゲン化合物のガス等)が生成するので、呼吸保護具を着用する。
消火活動は風上から行い有毒ガスの吸入を避ける。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項　室内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護マスク
保護衣等を着用すること。

環境に対する注意事項　環境への放出は避けること。

除去方法　漏出したものをすくいとり、または掃き集めてドラム缶等に
回収する。漏出物を回収する。
廃棄は内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた
専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

7．取り扱い及び保管上の注意

取り扱い　眼、皮膚、衣類につけないこと。
換気の良い場所で取り扱う。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡、保護手袋
保護マスク等)を着用しする。作業後は、手、顔などを良く洗う。

保管　容器を密閉し換気の良い冷暗所に施錠して保管する。
可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。

8．暴露防止及び保護措置

設備対策　局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに、眼の
洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具　保護メガネを着用する。他状況に応じた適切な保護具
(防塵マスク、保護衣、ゴム手袋等)を着用する。

9．物理的及び化学的性質

外観：　類白色細粒
比重：　0.87
ｐＨ　7.8
引火点　データ無し

１０．安定性及び反応性

安定性　通常の貯蔵・取り扱いにおいて安定である。
危険有害反応性　情報無し
避けるべき条件　情報無し
混触禁止物質　情報無し
危険有害な分解性生物　燃焼により一酸化炭素、窒素や硫黄の酸化物、
ハロゲン化合物のガス等が発生する恐れがある。

11．有害性情報

急性経口毒性　マウス雄雌　5000mg／Kg以上　ラット雄雌　5000mg／Kg以上
急性経皮毒性　ラット雄雌　2000mg／Kg以上
眼刺激性試験　ウサギ　軽度の刺激性あり。(結膜への刺激性反応が認められる。)
(刺激反応は7日後にすべて消失)
皮膚刺激性　ウサギ　刺激性なし
皮膚感作性　モルモット　皮膚感作性なし
発ガン性　発がんのおそれ
特定標的臓器毒性（単回暴露）　臓器(呼吸器系)の障害
特定標的臓器毒性（反復暴露）　長期または反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害

１２．環境影響情報

生態毒性　水生環境有害性(急性):区分1(緑藻類への有害性)
コイ　Lc50(96hr)　300mg／L
オオミジンコ　Ec50(48hr)　70mg／L
緑藻類　(藻類生長阻害試験)
EbC50 (0h-72h)　0.15mg/L
長期的影響により水生生物に毒性

１３．廃棄上の注意

空容器を廃棄する場合は、内容物を使いきった後に
適切に処理する。都道府県知事の許可を受けた専門の
廃棄物処理業者に処理を委託する。

１４．輸送上の注意

容器の破損、漏れがないことを確かめる。荷崩れ防止を
確実に行う。転倒、落下、破損がないよう積み込む。

１５．適用法令

＊農薬取締法　農薬登録番号19063

＊労働安全衛生法
イソウロン：公表
DCBN：　整理番号　4-(7)-459
DCMU：第57条の2第1項　通知対象物質政令番号249　;4-(13)-42
シリカ：安衛法57条の2第1項　通知対象物質政令番号312

＊化審法
イソウロン：整理番号；(5)-5296
DCBN：　整理番号；(2)-2991,(3)－2991
DCMU：　第2種監視化学物質；整理番号(3)－2194；
シリカ：　(1)-548

＊特定化学物質の環境への排出の把握等及び管理の改善促進に関する法律（ＰＲＴＲ法）
DCMU：　第2条第1種指定化学物質　政令指定番号169

＊バーゼル法　DCMU；第2条特定有害廃棄物等

１６．その他の情報

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成した一般的取り扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。ヒトに対する危険、有害性の評価はかならずしも充分ではありませんので取り扱いには充分注意を払ってください。